

理学療法学科 キャリア教育・実践的職業教育

理学療法学教育への取り組み状況

基礎分野教育、専門基礎分野教育、専門分野教育、臨床実習教育の教育内容充実を目指したカリキュラム編成（137 単位、3405 時間）をしております。

キャリア教育への取り組み状況

臨床での経験を重視した教育方針のもと、1 年次より 45 時間（1 単位）の理学療法実習を取り入れ、理学療法士に必要な資質、知識、技術の実際に触れるとともに、臨床現場での学習体験をすることで、理学療法士の仕事内容と役割についての理解や障がいの理解を目的としています。

2 年次では、全国でも珍しい、授業進行中に毎週 1 日、施設に行き、そこでの成果や反省を踏まえて、学内において練習を重ね、課題等も教員が助言をするタイプの実習を取り入れています。これを我々は、教員・学生・指導者との 3 双方向型の理学療法実習と位置付けて取り入れています。

このように、学年進行に伴い、段階的に実習時間も増やして、4 年間で 18 単位 810 時間の実習を行い、理学療法士の指導の下、様々な施設での理学療法士の仕事内容を体験します。

実習、実技への取り組み状況

2 年次、3 年次では、少人数制でのグループ学習を通して、理学療法実習に必要な知識について再確認し、客観的臨床能力試験等を実習前に実施し、実践的な確認も行います。確認する内容は、各年次レベルに合わせて行います。この試験を通して、各学生の到達度レベルを把握することで、その後の学習課題の整理等に役立てています。

就職支援への取り組み状況

卒業年度の学生に対して、就職説明会を実施しています。学生の必要に応じて、個別面談を実施して、個人の希望を聴取して、希望施設を本校に送付された求人票を中心に、就職先を決めている。就職試験を受けるに当たり、見学の段取りを行い、面接指導や作文添削指導等きめ細やかにを行い、本人の希望が叶うよう全力でサポートしています。

資格取得への取り組み状況

勉強しやすいように単元毎に小テストを実施し、その後グループに分かれて確認を行っています。外部の模擬試験を導入し定期的実施することで、自分の到達度を把握できるようにしています。また週 1 回各グループの担当教員が個々の学生の進捗度合に応じて助言、指導を行うことで確実に実力をつけ、国家試験全員合格を目指します。